



連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行

釧路市連合町内会

〒085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地
釧路市役所内

電話 0154-31-4255

直通電話・Fax 0154-23-2101



< 辛いところに手が届く外科医になりたい >

井須トクターの診察室

第16回

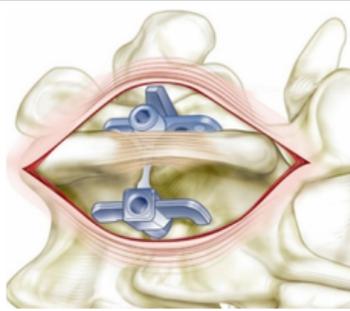


釧路労災病院
脳神経外科部長
井須豊彦

毎年、受験シーズンになると思
いだすことがあります。

入試前夜、39度を超える発熱あり、母親は心配して近所の国立病院の医師に深夜にもかかわらず診察をお願いしました（当時、救急体制が整っていませんでした）。不安でいっぱい私の身体に当てられた聴診器の感覚は今でも忘れられません。体調が悪いながらも試験を受けることができ、念願の医学部に入学することができました。一人の受験生として救われた気持ちになり、医療の原点を体験することができました。

最近、私は「画像診断の進歩により、身体に触れたり、聴診器をあてたり、辛い症状を聞くことが疎かになっていないか」(画像所見のみで治療方針を決めていないか)「画像所見を治すことや形を整えることに夢中になっていないか」と考えるようになりました。5年ほど前から、腰部脊柱管狭窄症に対して腰椎制動術を採用し良好な手術結果を得ています。本法の手術適応を決めるには、詳細な問診、診察(時代と言われそうな診察)が必要となります。今後、(病気で辛い思いをしている患者の力になりたい)と医師を志した高校生時代の思いを大切に、外科医を継続したいと思います。



腰部脊柱管狭窄症に対する棘突起間デバイス(Swift system)を用いた腰椎制動術の手術手技. 脊椎
脊髓39(1):5-13, 2026